

LiveCampus

Academic Affairs System

メニューへ

LOGOUT

Login User 保岡 義明

01:59:56

印刷

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照



シラバス参照

タイトル「**2020年度シラバスー1年生(N/E/S)**」、フォルダ「**共通科目（N/E/S）-社会に生きる**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

科目名	共生社会入門																												
担当教員名	吉田 亨																												
ナンバリング	NEd1023																												
学科	共通科目（N/E/S）-社会に生きる																												
学年	1年	クラス	1Aクラス																										
開講期	前期	必修・選択の別																											
授業形態	講義	単位数																											
資格関係																													
実務経験の有無	無																												
実務経験および科目との関連性	無																												
ねらい ①科目的性格 ②科 目の概要 ③授業の方法（AL を含む） ④到達目標 ⑤デ ィプロマ・ポリシーとの関係	<p>①科目的性格 1年前期と後期に開講される、共通科目「社会に生きる」の選択科目。</p> <p>②科目の概要 「共生」という概念がどのように作られ、広がってきたかを、自然環境との共生、多文化共生、障害者・健常者の共生、地域共生社会をキーワードに、主体的に学んでいく授業である。</p> <p>③授業の方法（ALを含む） 講義や発表の回では【リアクションペーパー】を利用する。授業の後半では、【レポート(表現)】(論述型レポート)を作成する。</p> <p>④到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「共生」の概念について説明できる。 2. 論述型レポートの作成方法を説明できる。 <p>⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 この科目は、大学のディプロマ・ポリシーの以下の資質・能力を育成することを目的とする。 ⑥-3グローバルマインド ⑥-4未来を創造する力</p>																												
内容	<p>授業の前半7回は「共生」に関する概論的な講義などを行う。そのうち2回は、科目共通の授業が予定されている。後半8回は、各自が関心を持った「共生」のトピックについて、論述型のレポートをPowerPointで作成し、発表する。なお、発表方法は履修者数に応じて、調整する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「共生」概念とその広がり</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>自然環境との共生</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>共通内容</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>共通内容</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>多文化共生</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>障害者・健常者の共生</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>地域共生社会</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>共生社会の実像を探る</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>共生社会の課題を探る</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>共生社会の未来を描く</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>中間まとめ</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>自然環境との共生(実像・課題・未来)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	「共生」概念とその広がり	2	自然環境との共生	3	共通内容	4	共通内容	5	多文化共生	6	障害者・健常者の共生	7	地域共生社会	8	共生社会の実像を探る	9	共生社会の課題を探る	10	共生社会の未来を描く	11	中間まとめ	12	自然環境との共生(実像・課題・未来)
回	内容																												
1	「共生」概念とその広がり																												
2	自然環境との共生																												
3	共通内容																												
4	共通内容																												
5	多文化共生																												
6	障害者・健常者の共生																												
7	地域共生社会																												
8	共生社会の実像を探る																												
9	共生社会の課題を探る																												
10	共生社会の未来を描く																												
11	中間まとめ																												
12	自然環境との共生(実像・課題・未来)																												

	13 多文化共生(実像・課題・未来)
	14 障害者・健常者の共生(実像・課題・未来)
	15 地域共生社会(実像・課題・未来)
各授業回における授業外学習の内容・所要時間	【事前準備】前半7回は、次回テーマについて事前学習をする。後半8回は、論述型レポート作成のための課題を課す。(60分) 【事後学修】前半7回は、各回の授業テーマに関する宿題を課す。後半8回は、授業での課題を完成させる。(60分)
評価方法および評価の基準	「共生」のトピックについて、各自がPowerPointで作成した論述型のレポートと、その発表で主に評価する。レポートとその発表が90%、平常点が10%とし、総合評価60点以上を合格とする。 【フィードバック】リアクションペーパーに記載された学生からの質問には、次回の授業で、出来る限り回答する。
教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）	【教科書】資料を配付する。 【参考図書】教室で紹介する。
学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など	

戻る

回	内 容	回
1	ひじかのちうじ会 [主共]	1
2	主共のちうじ会 [主共]	2
3	容内面共	3
4	容内面共	4
5	主共の音楽鑑賞・音楽鑑賞	5
6	会林会 [主共]	6
7	る縁あめの会 [主共]	7
8	く遊家未来の会 [主共]	8
9	めらま開中	9
10	(平末・鶴駒・鶴寔)主共のちうじ会 [主共]	10